

親の学びあい講座 開催の手引き

1. はじめに

核家族化、地域との繋がりの希薄化などを背景に子育て環境が変化している中、金沢市教育委員会では、家庭教育に関する指針「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」及び「金沢市家庭教育推進プログラム」を策定しました。このプログラムでは、保護者に効果的な学習の機会を提供することを主要事業の1つと位置づけており、親の学びあい講座の開催により、家庭教育の大切さを改めて意識していただきたいと考えています。

2. 親の学びあい講座とは

親の学びあい講座とは、「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」に基づいたテーマについて、保護者同士で日頃から感じている子育てについての悩みや思い、情報などを共有しながら学び合うワークショップの形式で進める参加型の講座です。

子育てには決まった答えがなく、答えが出ないこともあります。講座を通してそれぞれに子育てのヒントや子ども・家族との向き合い方などについて気づき生まれ、保護者同士が顔の見える関係を築くことを目的としています。

3. 親の学びあい講座の流れ

- ①アイスブレイク（場の雰囲気を和ませる）
- ②ワークショップ（意見交換などの主たる活動）
- ③ふりかえり

親の学びあい講座は、家庭教育学級や保護者会・PTAでの研修会、企業内研修などで活用できるようにシンプルなテーマにしてあります。テーマごとに「進行例」と「ワークシート」を用意しており、PTA役員や学校の先生をはじめ、どなたでもファシリテーターとして進行することができるように工夫しました。ぜひ、皆さんでご活用ください。

(活用例)



就学前健診時 入学説明会



保育所・幼稚園・認定こども園保護者会



親の学びあい講座



家庭教育学級・PTA 研修会



企業内研修

4. 親の学びあい講座の構成と内容

小学生（幼児含む）・中学生の子どもを持つ親を対象としたテーマで構成されています。

テーマの内容は、家庭教育に関する指針「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」を素材に、子どもの年齢や発達に応じた課題としています。

テーマ	対象		「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」
	小学生	中学生	
子どもとともに学ぶ良さとは？	<input type="radio"/>		1 持ち続けよう 子どもとともに 学ぶ姿勢
親は学ぶ姿勢、持ち続けていますか？		<input type="radio"/>	
良くないことは「良くない」ときちんと伝えることができますか？	<input type="radio"/>		2 きちんと守ろう 社会のルール 大人が手本
大人が見せるマナーの手本とは？		<input type="radio"/>	
親子であいさつ、していますか？	<input type="radio"/>		3 声かけよう 笑顔であいさつ 朝一番
あいさつはコミュニケーションの第一歩		<input type="radio"/>	
子どもの話、聞いていますか？	<input type="radio"/>		4 創ろう あたたかい家族のふれあい
子どもの心によりそっていますか？		<input type="radio"/>	
思いやりの心、育んでいますか？	<input type="radio"/>		5 大切にしよう 思いやりの心 すべての命
子どもの思い、受け止めていますか？		<input type="radio"/>	
「ありがとう」を伝えていますか？	<input type="radio"/>		6 伝えよう 心のこもった「ありがとう」
魔法のことばってどんなことば？		<input type="radio"/>	
寝る子は育つ？	<input type="radio"/>		7 育もう 子どもの健康 「早寝 早起き 朝ごはん」
良い生活リズムのポイントは？		<input type="radio"/>	
子どもにいろんな体験、させていますか？	<input type="radio"/>		8 支えよう 子どもの夢と可能性
子どもの夢、応援していますか？		<input type="radio"/>	

(※ 5～8は、H30年度に作成予定)

5. 親の学びあい講座の流れ

講座の標準的な流れです。実施時間は、およそ60分で設定しています。全体の時間に合わせて、それぞれの活動時間を調整することができます。

あらかじめ、話し合いがしやすい4～6人程度のグループを作っておきます。

時間	進行	進行のポイント
10分	学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習のねらいを分かりやすく伝えます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 顔見知りになり、参加者同士がつながることが目的 ・ 結論を導き出すための話し合いではないこと ・ 互いの考えや思いを伝え合うことで、気づきを生み出す学びの場であること </div>
	学習の約束（※1）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者みんなで参加者のルール「学習の約束」を確認します。（参加・尊重・守秘）
	アイスブレイク（※2）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者の緊張をほぐし、場の雰囲気をやかにします。（資料参照）
40分	ワークショップ（※3）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者グループでワークショップを実施します。 ・ ファシリテーターは、グループの間を回りながら様子を確認します。（聞き役になることがポイントです。）
10分	ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者に気づいたことについて記入してもらいましょう。 ・ ファシリテーターがまとめたり、参加者の感想を紹介したりするなど、内容をふりかえります。

※1 学習の約束：講座を始める前に、参加者同士が確認し合うルールのこと。

- ①**参加**：積極的に話し合いに参加しましょう。特に、しっかり聞く姿勢を心がけるようにしましょう。内容によっては「話さない」「パス」という選択肢もあります。
- ②**尊重**：どのような意見や発言も批判や否定をしないで傾聴しましょう。参加者一人ひとりの考えや思いが尊重されると、安心して話し合うことができます。
- ③**守秘**：お互いの信頼がなければ話できません。参加者個人の情報は、その場において帰り、他人に話さないようにしましょう。

※2 アイスブレイク：初めて出会った人たちが簡単なゲーム等を行うことで、緊張感がほぐれて話しやすい雰囲気になり、講座の参加者の交流にスムーズに入れるようなきっかけをつくる技法です。

※3 ワークショップ：小グループで意見交換や共同作業を進める参加型学習で、自分の意見をまとめる時間と、グループでの情報交換や話し合いの時間で構成されています。

6. ファシリテーター（親の学びあい講座の進行役）の役割

講座の進行役を、ファシリテーターと呼びます。アイスブレイクを通じて参加者の雰囲気を和ませ、参加者の交流がスムーズに進むよう、参加者の様子を見ながら声がけをし、参加者の気づきや学びを助けることが役目です。

ファシリテーター の役割

- 参加者が安心して学習できるような雰囲気をつくる。
- 参加者の主体性を尊重し、参加者自らの気づきを引き出す。
- 流れを調整する。

※ファシリテーターの範囲を超えた問題については、ファシリテーターが対応するのではなく、相談できる関係機関等を紹介しましょう。

学習の約束

講座を始める前に、「学習の約束」を参加者とともに確認しましょう。

- ①**参加**：積極的に話し合いに参加しましょう。特に、しっかり聞く姿勢も心がけるようにしましょう。内容によっては「話さない」「パス」という選択肢もあります。
- ②**尊重**：どのような意見や発言も批判や否定をしないで傾聴しましょう。参加者一人ひとりの考えや思いが尊重されると、安心して話し合うことができます。
- ③**守秘**：お互いの信頼がなければ話はできません。参加者個人の情報は、その場において帰り、他人に話さないようにしましょう。

7. 進行例・ワークシートの使い方

講座の各テーマは、進行例とワークシートでできています。

ワークシートのみ参加者の人数分コピーして配付してください。ワークシートは、終了後に回収する必要はありませんので、参加者に自由に使ってもらいましょう。



8. 「親の学びあい講座 開催の手引き」の使い方

本書は、「進行例」「ワークシート」「資料」（巻末に掲載）で構成されています。

進行例

テーマの具体的なねらいと進行例が書いてあります。

テーマを進行する時に押さえるポイントや留意点を書いてあります。

テーマの進行(小学生版)

(1) 進行例その1

- 1 テーマ名 子どもとともに学ぶ良さは？(8つのすずめ①)
- 2 テーマのねらい
 - ・ 大人が子どもとともに学ぶことの良さについて考えます。
- 3 テーマ説明
 - ・ 親は子どもがいろいろなことに自ら取り組んでほしいと思っても、親が言うだけでは子どもは興味を持ちません。そこで、大人が子どもとともに学ぶ場面を想定しながらその良さについて考えます。
- 4 主な対象 幼児・小学生の保護者
- 5 テーマの進行例(60分)
 - 【事前準備】
 - ・ 石、A3用紙：各グループに1つずつ置く
 - ・ ふせん：参加者1人につき20枚程度
 - ・ あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：大人が子どもとともに学ぶ姿勢について考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加・尊重・守秘 ○アイスブレイク(興料参照) 	
3分	ワーク1 (15分)・石を使用	発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・ エピソードを読み、子どもとともに学ぶ場面について記入してもらおう ・ 記入したことについて、グループ内で発表してもらおう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
5分	ワーク2 (25分)・ふせん、A3用紙を使用	1枚のふせんに1つ記入
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親が子どもとともに学ぶ良さについて考え、ふせんに記入してもらおう ・ エピソードを順番に貼り、貼られたふせんを整理する(似たような意見の整理など) ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いくつか考えてもよい ・ 話す(ふせんを貼る)順番は時計回り、全員が発表
4分	○ふりかえりをする	個人の気づきを大切にすため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各自が気づいたことをふりかえりシートに記入してもらおう ・ グループ内で発表してもらい共有する 	

小-1

テーマのねらいや参加者の状況等に応じて、アレンジしてもかまいません。

ワークシート

ワークの流れが書いてあります。

直接書き込みできます。

ワークシート(その1) テーマ「子どもとともに学ぶ良さは？」

エピソード

お父さんは息子の太郎くんにもっと本を読んでもらいたいと思っていますが、太郎くんはいつもゲームをしたりテレビを見ていたりで、なかなか本を読もうとしてくれません。
「ゲームばかりしてないでたまには本を読んでみたらどうだ」と声をかけますが、「お父さんだってパソコンばかり見て本なんか読んでないでしょ」と言い返されてしまいます。
そこでお父さんはハッとして、さっそく太郎くんを誘って一緒に図書館へ行き、それぞれ好きな本を借りました。

ワーク1 本を読むこと以外に親が子どもとともに学ぶ場面は、どんな場面がありますか。

ワーク2 親が子どもとともに学ぶことには、どのような良さがありますか。

ふりかえり テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

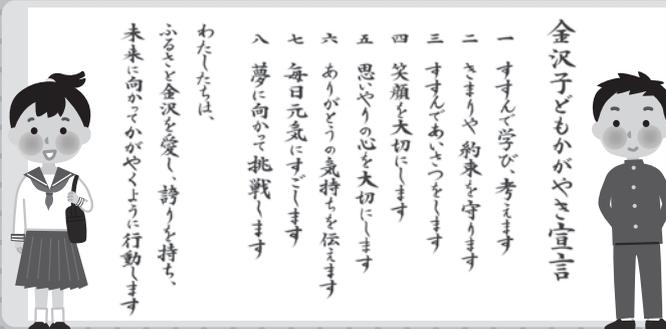
小-2

ワークシートはこのままコピーして使えます。

家庭で子どもを育むための8つのすすめ

金沢市教育委員会では、「金沢子どもかがやき宣言」を実践する子どもを育むため、ご家庭で意識していただきたいことを「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」としてまとめました。

- 1 持ち続けよう**
子どもとともに **学ぶ姿勢**
子どもががんばったことは大いにほめて、お手伝いや学習、読書などに自ら取り組む意欲を伸ばすとともに、大人も「気づき」や「学び」を得る機会を持ちましょう。
- 2 きちんと守ろう**
社会のルール **大人が手本**
「子は親を映す鏡」、大人の行動を見ています。自らの行いを通じて、礼儀やマナー、言葉づかいを教え、良くないことはきちんと叱って善悪の判断ができるようにしましょう。
- 3 声かけよう**
笑顔であいさつ **朝一番**
自分からあいさつすることで会話が生まれ、家族の絆が強くなるとともに、地域の輪も広がります。笑顔のあいさつに心がけましょう。
- 4 創ろう**
あたたかい家族のふれあい
子どもに笑顔で接し、心によりそい共感すると、子どもは安心感を持ち、前向きに考えることができます。家族のふれあいや会話を大切にしましょう。
- 5 大切にしよう**
思いやりの心 **すべての命**
子どもが受けた思いやりは、子ども自身の思いやりの心、ゆずりあいの心につながります。自分や他者の生命の尊さを伝えましょう。
- 6 伝えよう**
心のこもった「ありがとう」
「ありがとう」と言われたうれしさは、人やものに感謝する心を育みます。日頃から、子どもに感謝の言葉を伝えましょう。
- 7 育もう 子どもの健康**
「早寝 早起き 朝ごはん」
規則正しい生活リズムと食習慣は、一日のやる気と元気の源です。基本的な生活習慣と外遊びや運動で、たくましい心と体を育みましょう。
- 8 支えよう**
子どもの夢と可能性
家族は子どもの一番の応援団です。いろいろな体験を通してチャレンジ精神やあきらめない心を育み、夢に挑戦する姿勢を温かく見守りましょう。



金沢市学校教育振興基本計画に掲げる「めざすべき金沢の子ども像」をもとに、市内の中学生によるプロジェクト活動により、子どもたちの考え方や行動の基本的な約束事となる「金沢子どもかがやき宣言」を制作しました。「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」は、この宣言のそれぞれの項目に対応させて策定しました。

親の学びあい講座

進行例・ワークシート
(幼児・小学生保護者向け)

テーマの進行(小学生版)

(1) 進行例その1

1 テーマ名 子どもとともに学ぶ良さとは？（8つのすすめ①）

2 テーマのねらい

- ・ 大人が子どもとともに学ぶことの良さについて考えます。

3 テーマ説明

- ・ 親は子どもがいろいろなことに自ら取り組んでほしいと思っても、親が言うだけでは子どもは興味を持ちません。そこで、大人が子どもとともに学ぶ場面を想定しながらその良さについて考えます。

4 主な対象 幼児・小学生の保護者

5 テーマの進行例（60分）

【事前準備】

- ・ 石、A3用紙：各グループに1つずつ置く
- ・ ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・ あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：大人が子どもとともに学ぶ姿勢について考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク（資料参照） 	
3分	<p>ワーク1（15分）・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エピソードを読み、子どもとともに学ぶ場面について記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す ・ 最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	
5分	<p>ワーク2（25分）・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 親が子どもとともに学ぶ良さについて考え、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1枚のふせんに1つ記入 ・ いくつ考えてもよい ・ 話す（ふせんを貼る）順番は時計回りで、全員が発表
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する（似たような意見の整理など） ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする ・ 各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その1)

テーマ「子どもとともに学ぶ良さとは？」

エピソード

お父さんは息子の太郎くんにもっと本を読んでもらいたいと思っていますが、太郎くんはいつもゲームをしたりテレビを見ていたりで、なかなか本を読もうとしてくれません。

「ゲームばかりしていないでたまには本を読んでみたらどうだ」と声をかけますが、「お父さんだってパソコンばかり見て本なんか読んでないでしょ」と言い返されてしまいます。

そこでお父さんはハツとして、さっそく太郎くんを誘って一緒に図書館へ行き、それぞれ好きな本を借りました。



ワーク1 本を読むこと以外に親が子どもとともに学ぶ場面は、どんな場面がありますか。

ワーク2 親が子どもとともに学ぶことには、どのような良さがありますか。

ふりかえり テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(小学生版)

(1) 進行例その2

1 テーマ名 良くないことは「良くない」ときちんと伝えることができますか？
(8つのすすめ②)

2 テーマのねらい

- ・良くないことをしたときの子どもに対しての大人の行動を考えます。

3 テーマ説明

- ・子どもが成長する中で、ルールを守れないこと、他人を傷つけてしまうこともあります。それが良くないことだと子どもに自覚させるため、その時にとる行動や態度について、親である大人が行動で示すことの大切さについて考えます。

4 主な対象 幼児・小学生の保護者

5 テーマの進行例 (60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループに1つずつ置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：良くないことをしたときの子どもに対しての大人の行動について考える ○学習の約束を確認する (P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク (資料参照) 	
3分	<p>ワーク1 (15分)・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、「私」の気持ちを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
5分	<p>ワーク2 (25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに伝えたいことを考え、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入 ・いくつ考えてもよい
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する (似たような意見の整理など) ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す (ふせんを貼る) 順番は時計回りで、全員が発表
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その2)

テーマ 「良くないことは『良くない』ときちんと伝えることができますか？」

エピソード

私の小3の息子が、公園で同級生とボールで遊んでいたところ、年下の子どもにボールをわざとぶつけました。年下の子どもは泣いて、家に帰ってしまいました。

それを見ていた私は、息子をすぐに呼び、一緒にボールをぶつけて泣かせてしまった子どもの家に行き、子どもとその両親に謝りました。



ワーク1

息子が人を泣かしている姿を見て、「私」はどう感じたでしょうか。

ワーク2

自分の子どもがルールを守れなかった時、子どもに伝えたいことは何でしょうか。

ふりかえり

テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(小学生版)

(1) 進行例その3

1 テーマ名 親子であいさつ、していますか？(8つのすすめ③)

2 テーマのねらい

- ・日常生活にありそうな場面を想定して、親子のあいさつについて考えます。

3 テーマ説明

- ・あいさつはコミュニケーションの第一歩。しつけの中でも、「あいさつをできる子に育てたい」と思う親は多いですが、なかなか身につかないとも感じています。そこで、エピソードや実際の経験をもとに、大人も子どもも気持ちのよいあいさつを交わすための工夫について考えます。

4 主な対象 幼児・小学生の保護者

5 テーマの進行例(60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループに1つずつ置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4~6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：親子のあいさつについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク(資料参照) 	
3分	<p>ワーク1(15分)・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、「私」の気持ちを記入してもらおう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す ・最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表してもらおう 	
5分	<p>ワーク2(25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族と気持ちのよいあいさつを交わすために、したいことをふせんに記入してもらおう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入 ・いくつ考えてもよい ・話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する(似たような意見の整理など) <p>※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする</p>	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらおう 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その3)

テーマ「親子であいさつ、していますか？」

エピソード

朝6時半。私(小3)が起きる時間です。
お母さんは忙しそうに朝食を作っています。お父さんはもうすぐ出勤なので、慌ただしく身じたくをしています。

私は「おはよう」と元気よく言いましたが、2人も気づいていないのか、お母さんからもお父さんからもあいさつが返ってきません。



ワーク1 「私」の気持ちを考えましょう。

ワーク2 家庭で気持ちよいあいさつを交わすために、どのようにしていきたいですか。

ふりかえり テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(小学生版)

(1) 進行例その4

1 テーマ名 子どもの話、聞いていますか？(8つのすすめ④)

2 テーマのねらい

- ・日常生活にありそうな場面を想定して、家族のふれあいについて考えます。

3 テーマ説明

- ・今の家庭は共働きが多いなど、とても忙しい家庭が多いです。家族とふれ合う時間が少ない中、子どもからふれ合いを求められた時にどう対応すれば、お互いの気持ちを理解することができるかについて考えます。

4 主な対象 幼児・小学生の保護者

5 テーマの進行例(60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループに1つずつ置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：家族のふれあいについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク(資料参照) 	
3分	<p>ワーク1(15分)・石を使用 ※役をつけてロールプレイをしてもよい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、花子の気持ちを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す ・最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	
5分	<p>ワーク2(25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じような状況で自分がとる行動について、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入 ・いくつ考えてもよい ・話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する(似たような意見の整理など) ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その4)

テーマ「子どもの話、聞いていますか？」

エピソード

花子(小2)のお父さん・お母さんは共働きです。
今日、お母さんはいつもより遅く仕事から帰ってきたので、夕食作りに焦っています。そこに花子がお母さんに、今日の学校でのできごとを話しかけてきました。

でも、お母さんは支度の手を休めません。それでも花子は、お母さんの服を引っ張りながら「お母さん」「お母さん」と話しかけます。お母さんはイライラのあまり、後ろにいる花子に振り向きもせず「あとで」と言いました。

花子は「もういい」と言って、ゲームを始めてしまいました。



ワーク1 花子の気持ちを考えましょう。

ワーク2 自分が花子のお母さんだったら、同じような状況で話しかけられた時、どうしますか。

ふりかえり テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(小学生版)

(1) 進行例その5

1 テーマ名 思いやりの心、育んでいますか？（8つのすすめ—⑤）

2 テーマのねらい

- ・ 思いやりの心を育むための、親の関わりについて考えます。

3 テーマ説明

- ・ 「思いやりのある子に育てほしい」と願う親は多いですが、それをどう教えるかはなかなか難しいものです。そこで、子どもたちの行動を通して、今後の親の関わりについて考えます。

4 主な対象 幼児・小学生の保護者

5 テーマの進行例（60分）

【事前準備】

- ・ 石、A3用紙：各グループの中央に置く
- ・ ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・ あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：思いやりの心を育むための、親の関わりについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク（資料参照） 	
3分	<p>ワーク1（15分）・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エピソードを読み、「お父さん」の考えを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す ・ 最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	
5分	<p>ワーク2（25分）・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「僕」にかけることばを考え、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1枚のふせんに1つ記入 ・ いくつ考えてもよい ・ 話す（ふせんを貼る）順番は時計回りで、全員が発表
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する（似たような意見の整理など） <p>※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする</p>	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする（10分） ・ 各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その5)

テーマ「思いやりの心、育んでいますか？」

エピソード

ある日、僕（小5）は友達と3人で少年野球から帰る途中、両手に重そうな荷物を持ったおばあさんが歩いているのを見ました。おばあさんは少し歩いては休み、また歩いては休みを繰り返していました。

僕は2人に「おばあさんの荷物、持ってあげよう」と言いましたが、2人から「もうすぐ6時だし、早く帰らないと叱られるよ」と言われ、おばあさんを追い越して家に帰りました。

僕は家に着くなり、仕事から帰ってきていたお父さんに、モヤモヤした気持ちを話しました。



ワーク1 お父さんは、「僕」の気持ちを聞いてどう思ったか考えてみましょう。

ワーク2 あなたがお父さんだったら、「僕」にどんなことばをかけますか。

ふりかえり テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(小学生版)

(1) 進行例その6

1 テーマ名 「ありがとう」を伝えていますか？(8つのすすめ⑥)

2 テーマのねらい

- ・「ありがとう」と伝えることの大切さについて考えます。

3 テーマ説明

- ・子どもが良かれと思ってとった行動が、親の思い通りにならなかった時にかかる感謝のことばの大切さについて考えます。

4 主な対象 幼児・小学生の保護者

5 テーマの進行例(60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループの中央に置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：「ありがとう」と伝えることの大切さについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク(資料参照) 	
3分	<p>ワーク1(15分)・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、息子の行動に対して思ったことを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
5分	<p>ワーク2(25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・息子にかかることばを考え、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入 ・いくつ考えてもよい
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する(似たような意見の整理など) ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする(10分) ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その6)

テーマ「『ありがとう』を伝えていますか？」

エピソード

私には小5の息子がいます。最近はなかなか早く仕事から帰れず、息子には寂しい思いをさせていると感じています。今日も19時近くまで帰れず、息子は1人でお留守番。私が帰ってくると、息子は満面の笑顔で、自分で作った料理を見せてくれました。

息子は私の代わりに夜ご飯の準備をしてくれたようでした。台所へ行くと、冷蔵庫は開けばなし、ゴミや洗い物はシンクの中に山のようになっていました。



ワーク1 息子の行動に対して、あなたはどう思いましたか。

ワーク2 あなたが「私」の立場だったら、息子にどんなことばをかけますか。

ふりかえり テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(小学生版)

(1) 進行例その7

1 テーマ名 寝る子は育つ？ (8つのすすめ⑦)

2 テーマのねらい

- ・早寝の習慣の大切さについて考えます。

3 テーマ説明

- ・早寝早起きの生活リズムの確立が、子どもの成長に重要であることを再認識し、特に「早寝」の習慣化に向けて生活を見直すための方向性を考えます。

4 主な対象 幼児・小学生の保護者

5 テーマの進行例 (60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループの中央に置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○早寝の習慣の大切さについて考える ○学習の約束を確認する (P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク (資料参照) 	
3分	<p>ワーク1 (15分)・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、この後どうするかを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
5分	<p>ワーク2 (25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ子どもの生活リズムを整えることが大切なのかを考え、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入 ・いくつ考えてもよい
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する (似たような意見の整理など) <p>※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする (10分) ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その7)

テーマ「寝る子は育つ？」

エピソード

最近、ゆきちゃん(小2)は、なかなか寝付くことができません。今夜ももう9時を過ぎようとしています。

お母さんは、毎週楽しみにしているテレビ番組があり、どうしても観たくてテレビをつけました。こうなると、ゆきちゃんも一緒になってテレビを観たくて仕方ありません。お母さんが「何時だと思っているの？早く寝なさい。明日は学校よ。」と言っても全然言うことを聞きません。



ワーク1

あなたがお母さんの立場だったら、この後どうしますか。

ワーク2

なぜ、子どもの生活リズムを整えることが大切なのでしょう。

ふりかえり

テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(小学生版)

(1) 進行例その8

1 テーマ名 子どもにいろいろな体験、させていますか？(8つのすすめ⑧)

2 テーマのねらい

- ・子どもにいろいろな体験をさせることの大切さについて考えます。

3 テーマ説明

- ・子どもはいろいろな体験を通してチャレンジ精神やあきらめない心を育てていきます。その姿を親が温かく見守ることの大切さについて考えます。

4 主な対象 幼児・小学生の保護者

5 テーマの進行例(60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループの中央に置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：子どもにいろいろな体験をさせることの大切さについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク(資料参照) 	
3分	<p>ワーク1(15分)・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、イキイキしている姿を見てどう思うかを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
5分	<p>ワーク2(25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの夢を応援するための親の関わりについて、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入 ・いくつ考えてもよい
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する(似たような意見の整理など) ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする(10分) ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その8)

テーマ「子どもにいろんな体験、させていますか？」

エピソード

アキさんは小学5年生。アキさんの通う小学校では、6月のお祭りのために4月から鼓笛隊の練習が始まります。友達のサヤカさんに誘われたのでやってみたいと思いますが、お母さんに相談すると、「本当に続けられるの？お母さんは仕事があるから、送り迎えは無理よ。」と言われました。「必ず続けるからやらせて。帰りはサヤカと一緒に大丈夫。」とアキさんが言うと、お母さんは「じゃあ、いいわよ。」と言いました。



練習を始めてから1か月後、「宿題を忘れる日が続いている」と学校から連絡があり、心配したお母さんは練習を見に行きました。練習中のアキさんは、指導の先生たちの話を良く聞き、合間には年下の子どもたちの面倒もみていて、とてもイキイキとしていました。

ワーク1

お母さんは、アキさんのイキイキしている姿を見て、どう思ったでしょうか。

ワーク2

あなたの子どもの夢や興味を持っていることを応援するために、親としてどう関わっていこうと思いますか。

ふりかえり

テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

親の学びあい講座

進行例・ワークシート
(中学生保護者向け)

テーマの進行(中学生版)

(1) 進行例その1

1 テーマ名 親は学ぶ姿勢、持ち続けていますか？(8つのすすめ①)

2 テーマのねらい

- ・大人の学ぶ姿勢が子どもに与える影響について考えます。

3 テーマ説明

- ・子どもが自発的に物事に取り組むことに対して大いにほめ、子どもの意欲を伸ばすとともに、大人が学ぶ機会を持つことが子どもに与える影響について考えます。

4 主な対象 中学生の保護者

5 テーマの進行例(60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループに1つずつ置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4~6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：大人の学ぶ姿勢が子どもに与える影響について考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク(資料参照) 	
3分	<p>ワーク1(15分)・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、「息子」の気持ちを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
5分	<p>ワーク2(25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに与える影響を考え、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入 ・いくつ考えてもよい
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する(似たような意見の整理など) ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その1)

テーマ「親は学ぶ姿勢、持ち続けていますか？」

エピソード

中1の息子が、ジュニアかなざわ検定を受検するため、一生懸命勉強に励んでいました。

生まれも育ちも金沢の私は、金沢についてはよく知っていると思っていましたが、息子が勉強に使っている問題集に挑戦してみると、金沢の歴史や文化、偉人、産業など幅広い分野から出題されており、思ったよりもずっと難しかったです。その難しい問題に挑戦している息子がすごいと思い、私は息子をほめ、励ましました。

受検結果は息子が思ったとおりにならなかったようでしたが、息子は、来年も受検し、今年のリベンジをするためにもう一度勉強するようです。

そんな息子の姿を見て、私も生まれ育った金沢について知りたくなり、今年の金沢検定に挑戦しようと勉強中です。



ワーク1 挑戦しようと勉強をする姿を見て、息子はどう思うでしょうか。

ワーク2 親の姿勢が子どもに与える影響は、どのようなものでしょうか。

ふりかえり テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(中学生版)

(1) 進行例その2

1 テーマ名 大人が見せるマナーの手本とは？(8つのすすめ②)

2 テーマのねらい

- ・公共の場のマナーについて、大人が子どもに示す姿を見つめ直すきっかけとします。

3 テーマ説明

- ・ルールを守らない大人を見たときの子どもの気持ち、ルールを守らないことを注意しない大人の姿から、ルールを教えることの大切さについて考えます。

4 主な対象 中学生の保護者

5 テーマの進行例(60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループに1つずつ置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4~6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：公共の場のマナーについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク(資料参照) 	
3分	<p>ワーク1(15分)・石を使用 ※役をつけてロールプレイをしてもよい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、①~④の人物の気持ちを考え てもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を 持って書いたことを話し、終 わったら中心へ戻す
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表しても らう 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の発表順は時計回り、2回 目以降は自由
5分	<p>ワーク2(25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・娘と息子への声かけについて考え、ふせんに記入 してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを 整理する(似たような意見の整理など) <p>※グループによって進行状況が違うので、全体を見 回りながら声かけをする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話す(ふせんを貼る)順番は時 計回りで、全員が発表
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入す る 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするた め、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば何人かに発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その2)

テーマ「大人が見せるマナーの手本とは？」

エピソード

私は、中1の娘と小2の息子と電車に乗る順番を並んで待っていました。電車が到着しドアが開くと、後ろから低学年くらいの子が「僕が席をとってあげるよ」と真っ先に乗り込んで行きました。車内に入ると、さっきの子が母親の場所を確保し、母親に「ここ座ろう」と言うと、母親は笑顔で「ありがとう」と言い、座りました。その様子を見ていた娘は、私の顔を見ました。



ワーク1

- ① 「ありがとう」と言って座った母親を見た、「『私』の娘」の気持ち
- ② 「ありがとう」と言って座った母親を見た、「『私』の息子」の気持ち
- ③ 低学年くらいの子の気持ち
- ④ 「ありがとう」と言って座った母親の気持ちを考えてみましょう。

ワーク2

自分が「私」だったら、「ありがとう」と言って座った母親の様子を見て、娘と息子にどのように声をかけると思いますか。

ふりかえり

テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(中学生版)

(1) 進行例その3

1 テーマ名 あいさつはコミュニケーションの第一歩 (8つのすすめ③)

2 テーマのねらい

- ・ 日常生活にありそうな場面を想定して、あいさつについて考えます。

3 テーマ説明

- ・ あいさつはコミュニケーションの第一歩。しつけの中でも、「あいさつをできる子に育てたい」と思う親は多いですが、なかなか身につかないとも感じています。そこで、エピソードや実際の経験をもとに、大人も子どもも気持ちのよいあいさつを交わすための工夫について考えます。

4 主な対象 中学生の保護者

5 テーマの進行例 (60分)

【事前準備】

- ・ 石、A3用紙：各グループに1つずつ置く
- ・ ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・ あらかじめ、4~6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：あいさつについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク (資料参照) 	
3分	<p>ワーク1 (15分)・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エピソードを読み、「私」の気持ちを記入してもらおう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す ・ 最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したことについて、グループ内で発表してもらおう 	
5分	<p>ワーク2 (25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族や近所の人たちと気持ちのよいあいさつを交わすためにしたいことをふせんに記入してもらおう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1枚のふせんに1つ記入 ・ いくつ考えてもよい ・ 話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する(似たような意見の整理など) <p>※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする</p>	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする ・ 各自で気づいたことをふりかえりシートに記入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内で発表してもらい共有する 	

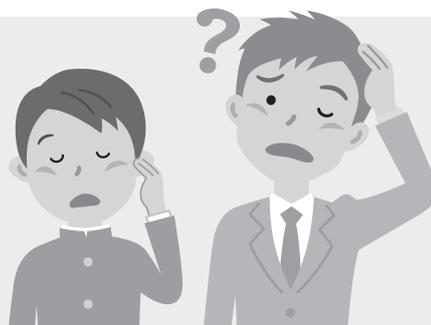
ワークシート
(その3)

テーマ「あいさつはコミュニケーションの第一歩」

エピソード

私は毎朝出勤する時、近所に住む中学生の男子生徒といつもすれ違います。

すれ違うときにいつも「おはよう」と声をかけるのですが、一度もあいさつが返ってきたことはありません。



ワーク1 「私」の気持ちを考えてみましょう。

ワーク2 家族や近所の人たちと気持ちよいあいさつを交わすために、どのようにしていきたいですか。

ふりかえり このテーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(中学生版)

(1) 進行例その4

1 テーマ名 子どもの心によりそっていますか？ (8つのすすめ—④)

2 テーマのねらい

- ・ 日常生活にありそうな場面を想定して、家族のふれあいについて考えます。

3 テーマ説明

- ・ 子どもは中学生になると、勉強に部活に忙しくなります。また、家族との関係より友だちとの関係を優先するようになるのもこの時期です。家族間でどうふれ合えば、お互いの気持ちを理解することができるかについて考えます。

4 主な対象 中学生の保護者

5 テーマの進行例 (60分)

【事前準備】

- ・ 石、A3用紙：各グループに1つずつ置く
- ・ ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・ あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：家族のふれあいについて考える ○学習の約束を確認する (P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク (資料参照) 	
3分	<p>ワーク1 (15分)・石を使用 ※役をつけてロールプレイをしてもよい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エピソードを読み、「私」の気持ちを記入してもらおう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す ・ 最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したことについて、グループ内で発表してもらおう 	
5分	<p>ワーク2 (25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 母がどう迎えれば良かったかについて、ふせんに記入してもらおう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1枚のふせんに1つ記入 ・ いくつ考えてもよい ・ 話す (ふせんに貼る) 順番は時計回りで、全員が発表
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する (似たような意見の整理など) ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする ・ 各自で気づいたことをふりかえりシートに記入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その4)

テーマ「子どもの心によりそっていますか？」

エピソード

私は中学2年生。部活動が終わった後、公園で友だちとクラスのことや先輩・後輩のことなどいろいろ話していたら、帰りがすっかり遅くなり、家に着いたのは20時過ぎでした。

私「ただいま」

母「あんた、何時やと思っとる！ いったい今まで何しとった！」

私「友だちと公園で話しとっただけ」

母「おしゃべりする時間があるなら、早く帰って少しは勉強したら？ 最近、成績も下がっ
とるし！」

私「うるさい！ 今勉強のことは関係ないやろ。もう、意味分からん！ お母さんと話したくない！」

母「ちょっと待ちなさい！」

私「……………」(自室にかけ込む)

母「もう、勝手にしなさい！」(家事の続きをし始める)



ワーク1 「私」の気持ちを考えましょう。

ワーク2 帰りが遅かった「私」を、母はどのような言葉で迎えれば良かったでしょうか。

ふりかえり このテーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(中学生版)

(1) 進行例その5

1 テーマ名 子どもの思い、受け止めていますか？ (8つのすすめ⑤)

2 テーマのねらい

- ・「いじめ」についての親の関わりについて考えます。

3 テーマ説明

- ・「いじめ」はあってはならないものですが、子どもがいじめの場面に遭うこともあるかもしれません。子どもがいじめる側でもいじめられる側でもない第三者の立場での場面を通して、親の関わりについて考えます。

4 主な対象 中学生の保護者

5 テーマの進行例 (60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループの中央に置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：「いじめ」についての親の関わりについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク (資料参照) 	
3分	<p>ワーク1 (15分)・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、「私」が思ったことを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す ・最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	
5分	<p>ワーク2 (25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・娘にかけることばを考え、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入 ・いくつ考えてもよい ・話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する(似たような意見の整理など) ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする (10分) ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その5)

テーマ「子どもの思い、受け止めていますか？」

エピソード

私の娘は中学2年生。最近少し元気がありません。娘の様子が気になったので、それとなく最近の出来事を聞いてみました。すると、娘はこう言いました。

娘：「今、クラスで、特定のクラスメートが無視する『いじめ』があるの。私が無視されているわけではないけど、何とかいじめを止めたい。でも、私がそれを言うと、今度は私がいじめのターゲットになるのではないかと思って、どうしたらいいかずっと悩んでいるんだ。どうしたらいいと思う？」



ワーク1 娘の話を聞いた「私」は、どんなことを思ったか考えてみましょう。

ワーク2 あなたが「私」だったら、娘にどのようなことばをかけますか。

ふりかえり テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(中学生版)

(1) 進行例その6

- 1 **テーマ名** 「魔法のことば」ってどんなことば？ (8つのすすめ⑥)
- 2 **テーマのねらい**
 - ・ 気持ちを伝えることの大切さについて考えます。
- 3 **テーマ説明**
 - ・ ことばの持つ温かさを「ありがとう」という感謝のことばを通して考えていきます。
- 4 **主な対象** 中学生の保護者
- 5 **テーマの進行例 (60分)**

【事前準備】

 - ・ 石、A3用紙：各グループの中央に置く
 - ・ ふせん：参加者1人につき20枚程度
 - ・ あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：気持ちを伝えることの大切さについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク (資料参照) 	
3分	<ul style="list-style-type: none"> ○ワーク1 (15分)・石を使用 ・ エピソードを読み、自分が親に伝えればよかったと思うことばについて記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ワーク2 (25分)・ふせん、A3用紙を使用 ・ かけられてうれしかったことばを考え、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1枚のふせんに1つ記入 ・ いくつ考えてもよい
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する (似たような意見の整理など) ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする ・ 各自で気づいたことをふりかえりシートに記入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その6)

テーマ「魔法のことばってどんなことば？」

エピソード

私(中2)はアレルギーがあるので、学校へは毎日お弁当を持参しています。

お弁当は母が作ってくれていますが、今週、母は忙しかったのか、必ずおかずにお焼きが入っています。美味しいと思っても、1週間は長すぎて、正直食べ飽きていました。

そこで、私は母に「いつもお弁当ありがとう。でも、今週ずっとお焼きが入ってるよ。」と言ったら、母は「お弁当の彩りに気をつけていたら、ずっとお焼きを入れてたわ。ごめんね。教えてくれてありがとう。」と私に言いました。



ワーク1

かつて、あなたが親(祖父母も含む)に「伝えれば良かった」と思ったことばはありますか。それはどんなことばですか。

ワーク2

日頃の生活の中で、かけられてうれしかったことばはどんなことばですか。

ふりかえり

テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(中学生版)

(1) 進行例その7

1 テーマ名 良い生活リズムのポイントは？(8つのすすめ⑦)

2 テーマのねらい

- ・ 中学校入学を機に生活リズムが一変する中で、良い生活リズムについて考えます。

3 テーマ説明

- ・ 食生活の自己管理を促すために親ができることについて考えます。

4 主な対象 中学生の保護者

5 テーマの進行例(60分)

【事前準備】

- ・ 石、A3用紙：各グループの中央に置く
- ・ ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・ あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：中学校入学を機に生活リズムが一変する中で、良い生活リズムについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク(資料参照) 	
3分	<p>ワーク1(15分)・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「私」が思ったことを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す ・ 最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	
5分	<p>ワーク2(25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規則正しい食習慣のために親として心がけていることを、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1枚のふせんに1つ記入 ・ いくつ考えてもよい ・ 話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する(似たような意見の整理など) <p>※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする</p>	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする(10分) ・ 各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その7)

テーマ「良い生活リズムのポイントは？」

エピソード

私には中学1年生の子どもがいます。最近、寝起きが悪く、朝食も食べたがらない日々が増えています。何か心配事があるのではと思い、本人に聞いてみても、「別に」と答えるだけです。心配事があるわけではなさそうです。

ある日、家のゴミをまとめていると、子どもの部屋のゴミに、お菓子の袋がいくつもあるのをみつけました。どうも、隠れて食べていたようです。



ワーク1 お菓子の袋があるのを見つけたとき、「私」はどう思ったでしょうか。

ワーク2 規則正しい食習慣のために、あなた自身が親としてどんなことを心がけていますか。

ふりかえり テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(中学生版)

(1) 進行例その8

1 テーマ名 子どもの夢、応援していますか？(8つのすすめ⑧)

2 テーマのねらい

- ・子どもの夢を応援することの大切さについて考えます。

3 テーマ説明

- ・子どもは成長するにつれて、将来の夢を描くようになります。子どもがめざす夢を親が応援することが、いかに子どもにとって心強いかにについて考えます。

4 主な対象 中学生の保護者

5 テーマの進行例(60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループの中央に置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：子どもの夢を応援することの大切さについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク(資料参照) 	
3分	<p>ワーク1(15分)・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、子どもの夢を応援するためにできることを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
5分	<p>ワーク2(25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの夢を応援することが子どもの将来に与える影響を考え、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入 ・いくつ考えてもよい
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する(似たような意見の整理など) ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする(10分) ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表してもらい共有する 	

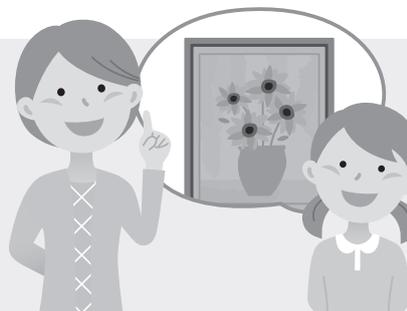
ワークシート
(その8)

テーマ「子どもの夢、応援していますか？」

エピソード

私の娘(中2)が、将来美術大学の進学を希望していることもあり、休日には家族でよく美術館へ行きます。

美術館で展示されている絵を見て、娘は絵の描き方やタッチについて感想を言いますが、美術に関心をそれほど持っていない私は、娘に何か言ってあげたいと思いつながら、何も言えませんでした。



ワーク1

「私」は保護者として、子どもの夢を応援するためにどうしたらいいと思いますか。

ワーク2

親が子どもの夢を応援することで、子どもはどんな気持ちになると思いますか。

ふりかえり

テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

親の学びあい講座
ショートバージョン

親の学びあい講座「ショートバージョン」について

親の学びあい講座「ショートバージョン」は、60分の確保が難しい場合、30分程度で親の学びあい講座を取り入れ、そのよさを体験できるように作成しました。60分同様、「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」に基づいたテーマについて、保護者同士で日頃から感じている子育てについての悩みや思い、情報などを共有しながら学び合うワークショップ形式で進める参加型の講座です。



サイコロの目にあるテーマに沿って話をします。

サイコロを振ってみましょう。「どんなテーマが出るかな？」

出たテーマでグループの参加者全員が交代で話をします。聞きたいことがあれば質問をする時間を設けることもできます。

「ショートバージョン」を体験すると、グループの参加者の話から、たくさんの気づきを得ることでしょう。参加者の子育てについて知ることは、ご自分の子育ての参考になる部分もあると思います。

「ショートバージョン」を通して、もっと「具体的に」「たくさんの気づき」を得るためにどうすればいいのを感じると思います。そんな皆さんには、60分の親の学びあい講座を実施されることをおすすめします。

みんなで子育てについて
話し合おう！



親の学びあい講座「ショートバージョン」テーマ

「家庭で子どもを育むための 8つのすすめ」	テーマ
1 持ち続けよう 子どもとともに 学ぶ姿勢	・最近どのようなことでお子さんをほめましたか。
2 きちんと守ろう 社会のルール 大人が手本	・あなたがお子さんに伝えたいと思っている、マナーはなんですか。
3 声かけよう 笑顔であいさつ 朝一番	・自分やお子さんは、ご近所へ自らどんな挨拶をしていますか。
4 創ろう あたたかい家族のふれあい	・お子さんから話しかけられたとき、気をつけていることは何ですか。
5 大切にしよう 思いやりの心 すべての命	・お子さんの「思いやりの心」を感じたのはどんな場面ですか。
6 伝えよう 心のこもった「ありがとう」	・最近家族に「ありがとう」を言ったのは、どんな場面ですか。
7 育もう 子どもの健康 「早寝 早起き 朝ごはん」	・お子さんは、起きてから登校までの時間をどう過ごしていますか。
8 支えよう 子どもの夢と可能性	・あなたは、お子さんの夢を知っていますか。

親の学びあい講座「ショートバージョン」の流れ

講座の実施時間はおよそ30分で設定しています。

- ・事前準備
 - ①4人程度のグループを作る。
 - ②グループ数のサイコロ(S-6を印刷)を作る。
 - ③学習のねらいと学習の約束(S-4, 5)を印刷しておく。
(全員が見える大きなもの1枚、または、グループごとに1枚ずつ)

時間	進行	進行のポイント
4分	学習のねらい 2分 学習の約束(※1) 2分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習のねらいをみんなで確認します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 顔見知りになり、参加者同士がつながることが目的 ・ 結論を導き出すための話し合いではないこと ・ 互いの考えや思いを伝え合うことで、気づきを生み出す学びの場であること </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者のルール「学習の約束」をみんなで確認します。(参加・尊重・守秘)
23分	アイスブレイク(※2) 2分 ワークショップ(※3) 21分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 始めにグループで簡単な自己紹介をします。名前と子どもの頃に好きだった遊びを言います。 ・ ジャンケンをして、誰からサイコロを振るのかを決めます。サイコロのテーマについて、グループみんなが順に1人1分程度で話をします。 (質問があれば1分程度聞いても良いことにします) ・ 途中でも7分たったら、次の人がサイコロを振り、次の話題について話をします。 (サイコロを振る回数は3~4回になりますが、時間に合わせて、回数を調整してもかまいません。)
3分	ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者に気づいたことについてふりかえります。

- ※1 学習の約束：講座をはじめの前に、参加者同士が確認し合うルールのこと
 - ①**参加**：積極的に話し合いに参加しましょう。特にしっかり聞く姿勢を心がけるようにしましょう。内容によっては「話さない」「パス」という選択肢もあります。
 - ②**尊重**：どのような意見や発言も批判や否定をしないで傾聴しましょう。参加者一人ひとりの考えや思いが尊重されると、安心して話し合うことができます。
 - ③**守秘**：お互いの信頼がなければ話はできません。参加者の個人情報、その場に置いて帰り、他人に話さないようにしましょう。
- ※2 アイスブレイク：初めて出会った人たちが簡単なゲーム等を行うことで、緊張がほぐれて話しやすい雰囲気になり、講座の参加者の交流にスムーズに入れるようなきっかけを作る技法です。
- ※3 ワークショップ：小グループで意見交換や話し合いを進める参加型学習です。

学習のねらい

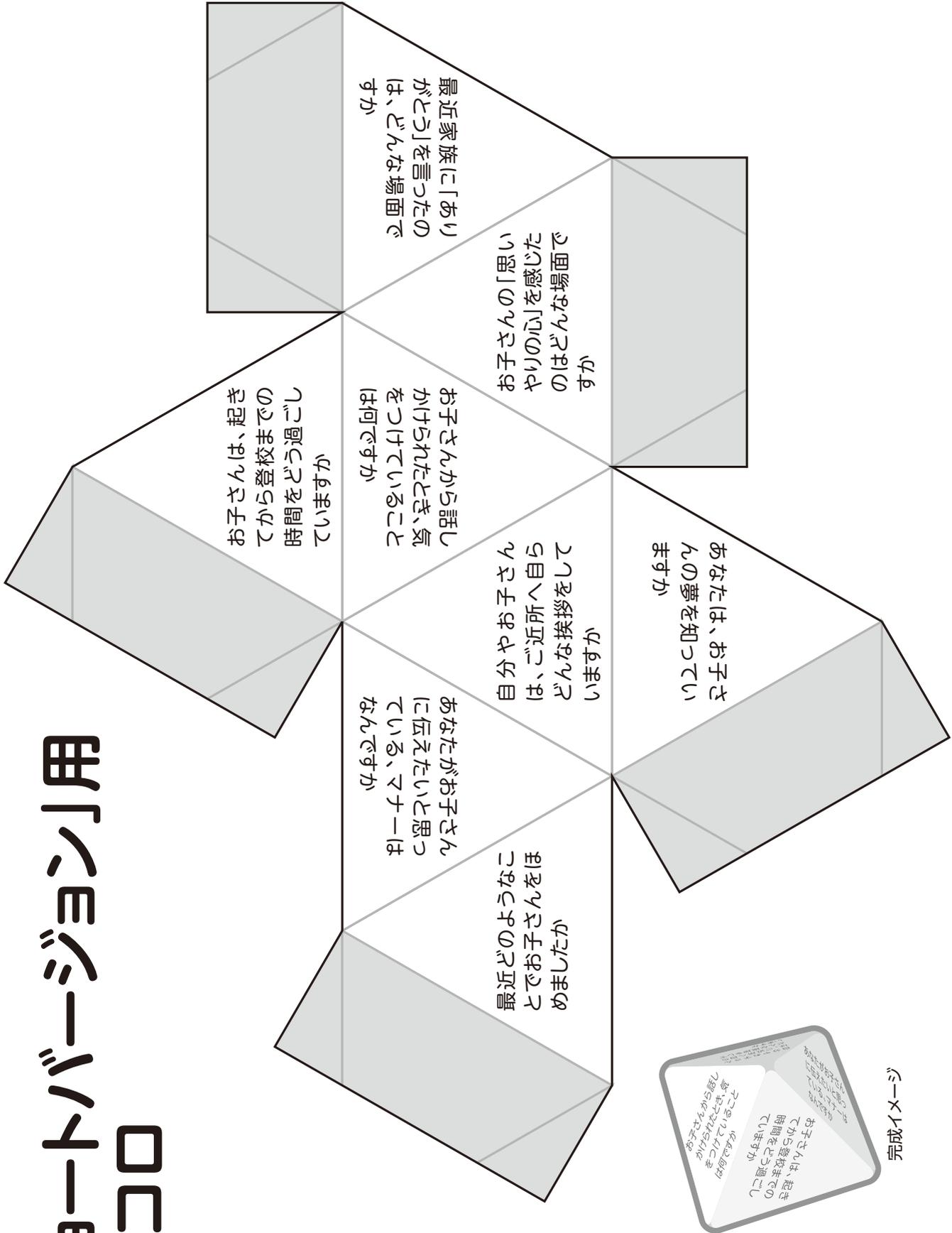
1. 顔見知りになり、参加者同士がつながりをもちましよう。
2. 話し合いは結論を導き出すためものではありません。
3. 互いの考えや思いを伝え合うことで、気づきを生み出すことしよう。

親の学びあい講座「ショートバージョン」

学習の約束

- 1.参加：自分ばかり話さず、しっかり聞きましょう。
「話さない」「パス」という選択肢もあります。
- 2.尊重：人の意見は、否定しないようにしましょう。
安心して話し合うことができます。
- 3.守秘：今日の話は、この場限りとしましょう。

「シヨートバァージヨン」用 サイコロ



完成イメージ

資料

アイスブレイクについて



アイスブレイクとは？

初めて出会った人たちが簡単なゲーム等を行うことで、緊張感がほぐれて話しやすい雰囲気になり、グループワークなどの参加者の交流にスムーズに入れるようなきっかけをつくる技法です。

～自己紹介などで、お互いの距離を近づけよう～

1 自己紹介（自分の名前+α）

+αの部分に、例1～例4の中から1つ選び、自己紹介をします。

例1：好きな食べ物

例2：嫌いな食べ物

例3：今はまっていること

例4：これからの目標

※これらの例以外の情報に置き換えてもできます。

2 しりとり自己紹介

グループ内ではじめに自己紹介をする人を決めます。その人の右側の人の名前の最後の一字をとり、その言葉から始まる自分を説明するような形容詞をつけて自己紹介します。

【例】ヒロサカカズ(オ)→オトコ前だと言われて困っているカナザワコウ(ジ)です→ジュースよりビールが好きなイシカワハナコです…という風に、ユニークな形容詞を付けて楽しみましょう。

3 他己紹介

①グループ内で2人組になります。

②ファシリテーターの合図で、お互いのことを質問し合います。(時間適宜)

③順番にパートナーのことをグループ内の他のメンバーに紹介します。

4 隣の紹介

はじめの人が「私は、Aです」と言ったら左隣の人が「私は、Aさんの隣のBです」「私はAさんの隣のBさんの隣のCです」と次々に紹介していきます。

5 仲間探し

①グループごとに輪になり、起立します。

②ファシリテーターが、「○○が同じ人を探してください」と同じ仲間を探すキーワードを言います。

例：「生まれた月」「好きな(嫌いな)食べ物」「好きな(嫌いな)動物」など

※仲間が見つからなくてもかまいません。「個性的で貴重な存在である」という肯定的な認識が持てるようにファシリテーターが支援します。

6 ほめほめゲーム

- ①グループ内で2～3人組を作り、その中で「ほめられる」順番を決めます。
- ②「ほめられる人」に向かって、残りのメンバーは1人ずつ「ほめられる人」のよいところを探し、ほめます。
※外見、印象、過去の実績、何でもありです。
※相手が心地よくなるように、気持ちを込めてほめます。
※「ほめられる人」は黙って受け止めます。
- ③1つほめたら、次の人に交替します。
(2人組の場合は、「ほめられる人」の役割を交代します)

7 パースデーライン

- ①グループ内で、言葉を使わずに身振り手振りで自分の誕生日を相手に伝えます。
- ②1月1日を先頭に、誕生日の早い順に並びます。
- ③並び終わったら、順番に誕生日を言ってもらいます。
※誕生日順を、名前のアイウエオ順に置き換えてもできます。

～緊張をほぐし、場を和ませよう～

8 後出しじゃんけん

- ①かけ声を確認します。ファシリテーター：「じゃんけんぽん」 参加者：「ポン」
- ②「じゃんけんぽん、ポン」にあわせてグー・チョキ・パーのどれかを出します。最初の「じゃんけんぽん」はファシリテーターが出すので、次の「ポン」で参加者はファシリテーターと同じものを出します。
以後は「ポン」（ファシリテーター）、「ポン」（参加者）とリズムよく続けます。
- ③慣れてきたら、ファシリテーターに勝つものを出します。次は、負けるものを出します。

9 負けるが勝ち

じゃんけんでは負けた方が勝ちというルールで普通にじゃんけんをします。

10 キャッチ

- ①グループ内で2人組になります。(あらかじめティッシュを1枚用意)
- ②2人のうち、1人は左手の人差し指と親指で輪を作るように軽く握り、もう1人はあらかじめ細く「こより」にしたティッシュの先をつまみ、もう1人が作った左手の輪の上に入れます。
- ③ファシリテーターが「スタート」と言うってから30秒以内に、ティッシュを持った人は自分の好きなタイミングでティッシュから手を離します。左手で輪を作った人は、それを握ってキャッチします。